

評価細目の第三者評価結果  
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜市保育所全体的な計画」「アプローチカリキュラム」に基づき、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成をしている。年案、月案、個別の計画を作成し、保育の評価反省を行い、課題を見つけ次につながるようにしている。</li> <li>・保育の理念や保育所の目標は、施設内、各保育室に掲示をし、全職員が意識をして保育にあたるようにしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の安全点検（保育室、遊具、防災など）を実施し、安全で清潔な環境を整えている。</li> <li>・薬剤師による環境衛生検査を実施している。（年3回）</li> <li>・新型コロナ感染症対策として、毎日の施設内や玩具の消毒、殺菌庫を使用しての消毒、密にならない生活や遊びの工夫をし、感染防止に努めている。</li> <li>・夏場は遮光ネットやテントを使用し、日陰を作り、快適に過ごせるようにしている。</li> <li>・一人一人の思いに寄り添い、ゆったりとかかわり安心して過ごせる場にするとともに、発達や年齢に合った玩具や遊びのコーナーを用意するなど環境整備を行っている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の発達や家庭環境、生活リズムなど配慮すべき点を職員会、ケース会議にて話し合い、職員間で共通理解して保育にあたるようにしている。</li> <li>・常に子どもの気持ちに寄り添い、安心して気持ちを表現できるようかわり、一人一人に応じた援助を行っている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	㊤・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健安全計画に基づき、子どもたちが健康で安全に過ごすための約束を決め、毎月の「元気会」で分かりやすく伝えている。</li> <li>・基本的な生活習慣は、自分でやろうとする気持ちを大切に、ゆったりと関わり、一人一人の発達を踏まえた丁寧な援助をしている。</li> <li>・保護者と情報交換を行い、生活習慣について共通理解を図り、家庭状況を踏まえながら援助している。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（４） 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達や興味関心に合ったコーナーや玩具を用意し、主体的に遊べるようにしている。また、園内研修で環境について取り組み、保育士が子どもとともに遊び、子どもの姿を捉えた遊びの環境を意識しながら保育をしている。</li> <li>・園庭や保育所の隣にある野一色公園では、子どもたちがのびのびと体を動かして遊んだり、身近な自然に触れ関心がもてるようにしている。野菜の栽培・収穫、小動物の飼育も行い、関心を深められるようにしている。</li> <li>・クリスマス会などの行事では地域の方に参加して頂き、ふれあいの機会を大切にしている。</li> <li>・近隣に中学・高校があり、交流の場を設けている。（コロナの感染状況に応じて、交流の中止、交流の仕方を吟味している。）</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（５） 乳児保育（０歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 非該当</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（６） ３歳未満児（１・２歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの「自分で」という気持ちを大切に、基本的習慣が身につくよう見守ったり、一人一人に合わせた援助をするようにしている。</li> <li>・探索活動を十分に行えるように広いスペースを作り、興味や関心、発達に合った玩具で遊べるように用意している。</li> <li>・友達との関わりの中で、一人一人の思いを大切に、保育士も一緒に遊ぶ中で思いを受け止めて代弁し、関わり方を丁寧に伝えている。</li> <li>・遊びや生活の様子を写真で掲示したり、連絡帳や送迎時を利用し家庭との連携を図り、共通理解を持てるようにしている。</li> <li>・遊びの様子や生活の様子などを定期的に写真で情報提供し子どもたちの成長がより伝わるようにしている</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（７） ３歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊤・b・c</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年齢の発達、子どもの個性や特性に考慮した保育計画を作成し、保育を実践している。また、日々の保育の評価反省をもとに保育を見直し、その後の保育に生かせるようにしている。</li> <li>・保育士が子どもとともに遊び、子どもの興味関心を的確に捉え、それに合わせた遊びの環境や子どもに経験させたい「ねらい」をもった遊びの環境や活動を設定している。</li> <li>・保護者との送迎時の会話や日報を通して、日々の保育所での様子を伝えている。またその日の活動や行事での様子などを写真で掲示したり子どもの作品を展示したりしてより伝わるような工夫をしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（８） 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と懇談し、関係機関との連携を図りながら「障がい児個別指導計画」を作成し、それに基づき発達状況や特性を踏まえながら保育を行っている。</li> <li>・連絡帳を通して保育所と家庭との様子を伝え合い、連携を密にとるようにしている。</li> <li>・全職員で共通理解をもち統一した対応や援助が行えるよう、ケース会議を行っている。</li> <li>・エール岐阜、幼児支援教室等の専門機関と連携し、親学級訪問や支援教室訪問を通して共通理解を図っている。</li> <li>・認定にかかわらず発達で気になる子どもについては、保護者と困り感を共有しながら巡回相談や専門機関などを紹介し、発達の状況把握と手立てが見つかるようにしている。</li> <li>・職員は保育相談員の巡回指導や恵光学園での実習、研修参加等で知識を得ている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（９） それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な雰囲気の中で、一人一人が安心して過ごせるような環境づくりをしている。また、様々な年齢の子どもが過ごすため、安全性に配慮し、環境を整備している。</li> <li>・送迎チェック表を活用し、保護者からの伝言や保育士からの連絡を記入し、確実に伝わるようにしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（１０） 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプローチカリキュラムに基づく保育を実践している。</li> <li>・保育所児童保育要録を作成し、就学先の小学校との懇談を行いながら連携を図っている。また、卒園後も継続した援助が行えるようにしている。</li> <li>・就学前に個人懇談を行い就学相談会の紹介をするなどして、子どもと保護者がともに安心して就学を迎えられるようにしている。</li> <li>・職員は学校運営協議会や幼保小合同研修会に参加し、小学校と連携を図っている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3- (1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の「元気会」を行い、保健安全計画に基にした今月の約束を決め、子どもたちが自分の体に興味関心を持ち、感染症の予防を意識し、生活習慣を見直すことが出来るようにしている。</li> <li>・登所時には、健康チェックカードの記入をもとに、体調の確認、健康観察を行い、体調把握に努めている。</li> <li>・感染症の発生や流行状況を掲示し、保護者と情報共有している。</li> </ul>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-3- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断（内科・歯科は年2回、眼科、耳鼻科、検尿は年1回）を実施し、結果を児童票に記載し、保護者に伝え治療が必要な場合は受診を促し、受診状況を確認している。</li> <li>・各クラスで年齢に合った歯磨き指導や大切さを知らせている。</li> </ul>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-3- (3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育所食物アレルギー児の対応マニュアル」に基づき、「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」に従い対応を行っている。</li> <li>・毎月、献立成分表を基に、保護者、所長、担任、調理員で面談を行い、除去の有無のについて確認している。</li> <li>・アレルギー児の食事は専用トレイ、食器を使用し、給食室、事務室、クラスで指差し・声だし確認を行い、誤食のないようにしている。</li> <li>・翌日のメニューについて、事務室、クラス、給食室で除去や持参の確認を行い誤食のないよう徹底している。</li> <li>・熱性けいれん、肘内障、蜂に刺された等の既往症のある子に対して、発症時の状況や対応について保護者と確認し、緊急時に備え、緊急時対応表を作成している。痙攣の起きやすい子については、定期的に検温し、体調の把握に努めている。</li> </ul>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

#### IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4- (1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間食育計画を作成し、野菜の栽培や収穫、クッキングなどを計画し食への関心がもてるようにしている。</li> <li>・週に2回、給食とおやつ展示をしたり、食材の産地情報や給食のレシピを配布している。</li> <li>・園庭の畑で夏野菜や玉ねぎなどの栽培、収穫をする中で、生長を楽しみ、収穫した野菜を家庭に持ち帰って味わってもらう機会も作り、家庭とともに関心が深まるようにしている。</li> </ul>	

改善できる点／改善方法：	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の食べられる量や苦手な食材を把握し、保育室での配膳の際は量を加減し、食べられたという満足感を得られるようにしている。</li> <li>・季節に応じた食材や行事食を提供し、ランチョンマットを使用するなどして楽しく食事が出来るようにしている。</li> <li>・年長児は給食後に食材を4つのお皿に分け栄養について関心を深められるようにしている。</li> <li>・給食検討委員会で献立が検討され、旬の食材や地域の食材を生かした料理が味わえるようにしている。</li> <li>・11月には和食の日にちなみ栄養士から出汁の話聞く場を持った。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

## 評価対象V 子育て支援

### V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時の会話や日報、連絡帳を通して子どもの様子を伝え合い、信頼関係を築けるようにしている。</li> <li>・保育参観、個人懇談（希望者のみ）などを開催し、子どもの様子を見てもらい保育所での姿を知ってもらったり、成長を伝え合うようにしている。</li> <li>・保育所だよりやクラスだよりで月のねらいや子どもの姿を知らせたり、週の予定を掲示し、保育の内容や子どもの姿を知らせるようにしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

### V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や連絡帳を通して、子どもの様子や子育てを話題にしてコミュニケーションを図り、日頃から話しかけやすい雰囲気づくりに努めている。また、必要に応じて懇談をする機会を設けている。相談内容は記録に残し職員で周知し適切に対応できるようにしたり、必要に応じて専門機関と連携が取れるようにしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㊤・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童虐待マニュアル」に基づいて日頃から子どもの心身の状態や送迎時の様子を観察するようにしている。</li> <li>・虐待が疑われる場合には速やかに所長に報告し、職員間で観察や記録を取るなどの対応が出来るようにしている。また、連絡のない欠席が続く場合は、保育所から連絡を入れ様子を伺うようにしている。</li> <li>・子ども保育課、エール岐阜、岐阜県中央子どもセンター等関係機関との連携を図り、虐待防止に努めている。</li> </ul>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

## 評価対象Ⅵ 保育の質の向上

### Ⅵ-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
Ⅵ-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育実践に対して振り返りを行い、その後の保育に生かせるようにしている。またその過程を保育日誌に記載している。</li> <li>・園内公開保育を行い、公開保育参加者からの意見を参考に自分の保育を振りかえったり、他者の保育の仕方を学んだりして、保育の改善や向上に努めている。</li> <li>・自己評価研修を行い、定期的に保育を振り返り、保育所全体で意識を高め共通理解の上で保育を行えるようにしている。</li> <li>・自己評価チェックリストを活用し、定期的に保育を振り返る研修を行い、保育所全体で意識を高め共通理解の上で保育を行えるようにしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

### Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内4か所に防犯カメラが設置されており、24時間体制で防犯対策をしている。さすまた、催涙スプレーを備え、緊急時に対応できるようにしている。</li> <li>・不審者対応訓練の年間計画を立て、毎月様々な想定で訓練を実施し職員の連携などを確認している。</li> <li>・年1回県警のたんぼぼ班による連れ去り防止教室に参加し、子どもたちが自分の身を守る意識を持てるようにしている。</li> <li>・玄関は送迎時間以外は子どもの出入りに応じてその都度施錠している。また児童センターが隣接するため、駐車場等外部の方が多く出入りするため、防犯カメラ等を活用し、不審者対応をしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
--	---------

VII-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに年間行事計画を配布し、保護者が保育参加のための予定を立てやすいよう配慮している。またコロナの感染状況により行事の変更や中止となった場合は、混乱や間違いがないよう掲示をし、丁寧に説明をし理解を得られるようにした。</li> <li>・毎月の保育所だよりにおいても行事のお知らせを掲載し、事前に準備が必要と思われる行事については、詳細な案内を配布した。</li> <li>・行事後にはアンケートを実施し、保護者の意見を汲み取るとともに、意見や回答をまとめ配布している。</li> <li>・行事に参加できなかった保護者にも資料を配布したり、内容を口頭で伝えたりしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会からの相談には常に応じ、一緒に考えたり、アドバイスをしたりするようにしている。</li> <li>・保護者会を開催する場を提供し、保護者会の間は子どもを保育している。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

### VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に向けて、保育所児童保育要録を作成して、各小学校に送付し継続的な支援が行われるようにしている。</li> <li>・年長児の保護者に、就学時健診の日程を知らせ、全員が受診できるようにしている。</li> <li>・例年は入学式、運動会、卒園式などお互いの行事に職員を招待出席し、連携を深めている。</li> <li>・学校運営協議会に参加し、情報交換を行いながら連携を図っている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	